

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 第56回通常総会
- P4 青年部・女性部日より
- P6 福島工業高等専門学校と
福島県商工会連合会との
産学連携に係る協力協定調印式
- P7 全国組織化50周年記念式典
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会日より
- P12 掲示板

いわき市で初めて法要に特化した施設運営を始めた (株)内郷館 代表取締役 山崎盛久さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

「親族の一人になったおもてなし」

いわき市・いわき法要館勿来店

2016.9.1
Vol.373



“親族の一人になったおもてなし”

サービスに秘められたプロの技術と知恵を添えた心配り

いわき市初の法要専門事業を起業



いわき法要館勿来店代表・山崎盛久氏は経営母体である(株)内郷館がフライダル事業で培ってきたノウハウを活かし、今年七月にいわき市で初めて法要に特化した施設運営と仕出し料理を提供する専門館として新規オープンしました。常磐線勿来駅に近い国道六号線沿、車で約十五分ほどで茨城県という県境に立地する場所にあります。新天地での販路開拓には「本物を提供することによりご理解いただけるものだと思う」と、山崎氏はじっくりと構え地域に浸透する努力を惜しまない覚悟を語ります。

法要館の事業コンセプトは？

「コンビニエンスストアや葬祭ホールが身近で便利なサービスを受受できる時代となった今、法事や法要においても宗派を問わず故人を偲ぶための親族が一堂に会する場所を提供し、専門的サービスを気軽に利用できることを事業化したものです。運営理念は極めてシンプルに「私たちが親族の一人という立場になり、ご参会の皆様とともに故人を偲ぶおもてなしをする」とです」と山崎氏は言います。

経営母体で培った強みと

法要館に特化させたサービス

少子高齢化社会への対策として山崎氏は十年前から

フライダル事業の存続と事業のリノベーションに取り組んできました。経営母体である内郷館は明治三十年四月に創業、今年で二〇年の歴史を有する老舗企業でもあります。山崎氏の曾祖母が現在の内郷駅前当時の駅名はつら駅に宿泊旅館として開業したのが始まり。その後常磐炭鉱の隆盛とともに商いを拡張し、二代目(祖母)は宴会や飲食を拡充し割烹旅館として飛躍的な発展を遂げました。終戦直後、三代目(山崎盛久社長)の父が経営を引き継ぐと経営改革に乗り出し、民間結婚式場に特化。地元結婚式場の草分けでもありました。

「祖母や父をみて感じてきたことですが、親戚同士の交流のような心配りと接客、そして美味しい料理への探求心と努力があったから今があります。四代目・山崎盛久氏は自社の歴史と本質をこつ捉えている。「クレールコート」と名称を変えたのは、大資本の優位性にマーケットがなびくとはかぎらない。自分たちの強みを活かした経営をするための改善の一環だったと言います。親族の一人になったおもてなし」というコンセプトを新たにに加え、カタチにしてみました。

「結婚式に対する考え方は少しずつ変わっていきます。少子化も避けて通ることはできません。だからサービスの在り方や接客技術の向上が急務でもありました」。

「小資本ですから、当初は十年構想でした。でも二〇一一年の震災が転換期です。施設は全壊と判定され営業中断に追い込まれましたが、関係機関の支援をいただいたことで復興への事業意欲を維持でき、新たに事業計画も一気に進めることができました。この言葉を補足する秘話を披露しましょう。震災休業の時、山崎氏の奥さんは英国へ、ガーデニング留学。本場の技術を習得し、庭のリニューアル構想図面を手にして帰国。またご子息が後継者に参画する傍ら、オーナーシェフのいるフライダルレストランとしてあるべき姿を確立するため、外部に出向いてシェフ修行と経営の経験を重ねたのです。この取り組みが現在のクレールコート

といわき法要館の強みと独自性になっています。

法要専門館のアピールポイントは？

最近では親族やご縁のある人が集まるのはフライダルや葬儀、法要などの機会に限られてきます。こうした社会背景を踏まえ法要館は「心に届くおもてなしと料理における高い満足度」を目指しています。施設は店舗跡地でもあり約三十人収容と限定されませんが、法要以外では多目的ホールとして地域と密着した経営を考えています。

一方、厨房は十分な広さを確保し、一度に六十人規模の仕出し料理にも対応できる体制です。食材にもこだわりを持ち契約農家から仕入れるのはもちろん、野菜ソムリエ資格を持つスタッフが栄養価などもチェックします。メニュー構成や盛り付けすべてにご子息が兼務でプロデュース。地元食材を多く取り入れた料理は目で楽しみ味わって楽しんでいただくための心配りが込められています。

今後の事業展開の抱負をお聞かせください

「いま考えているすべてのサービスやオペレーションを勿来店では実行したいと思っています」。こう語る山崎氏の次なる展開は平、内郷を起点とした法要館二号店を開業すること、そして仕出し料理のサービスをより充実させるという事業に対する夢があります。



企業概要

業名 いわき法要館勿来店
 代表者名 山崎 盛久
 住所 〒979-0146
 いわき市勿来町関田御城前14-1
 TEL 0246-38-5844
 定休日 毎週月曜日
 関連店舗名 クレールコート
 URL http://www.claircourt.com/
 法人名 (株)内郷館

ふくしまの商工業の再生を目指して 第五十六回通常総会

去る五月二十五日、コラッセふくしま



多目的ホールにおいて第五十六回福島県商工会連合会通常総会を開催した。

平成二十八年 事業計画重点事項

一、東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化

- ① 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援
- ② 原子力損害賠償の完全実施への支援
- ③ 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施
- ④ 被災商工会等の復興ビジョンに基づく事業の実施

二、原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組み

- ① 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業(日本橋ふくしま館ミデッテ(MIDETTE)の運営)
- ② ふくしまの新たな商品開発に向けた支援事業
- ③ 通信販売(頒布会)支援事業
- ④ ふくしま県産品販路拡大・人材育成支援事業
- ⑤ 福島県産品加工食品放射能検査支援
- ⑥ 被災地域の中小企業移動販売支援(軽自動車配備)

議長では、重点事業として、地域の商工会、会員の事業者の再生・再建の支援をするためのマンパワーの不足を補うため、復興経営指導員、復興経営支援員の設置や、日本橋ふくしま館ミデッテ(MIDETTE)を運営する「福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業」、また、小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業支援の推進など、風評被害払拭、県産品消費拡大と、中小企業、小規模事業者の持続的な経営に向けた支援などを盛り込んだ、平成二十八年度の事業計画を決定し、役員補充選任では、岡崎長市国見町商工会長が理事に選任された。

三、小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業支援の推進

四、中小企業・小規模事業者の復興と持続的発展に向けた支援の強化

- ① 伴走型経営支援の実施
- ② 経営発達支援計画の認定の推進
- ③ 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化
- ④ 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進
- ⑤ 消費増税・軽減税率導入に向けた事業者支援体制の強化
- ⑥ 福島県中小企業者復興支援事業(復興支援員の設置)
- ⑦ 避難地域商工会等機能強化支援事業(復興専門員の設置)
- ⑧ 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島市の四分室事業
- ⑨ 被災十二市町村の事業者自立支援事業(復興経営指導員、復興経営支援員の設置)
- ⑩ ネットde記帳等による小規模企業の生産性及び経営方向上の支援
- ⑪ 経営支援事例の共有とノウハウの蓄積による伴走型経営支援の推進
- ⑫ 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化
- ⑬ 中小企業・小規模事業者に対する事業継続計画(BCP)策定支援
- ⑭ 中小企業・小規模事業者に対する支援機関連携による経営支援

五、商工会の組織基盤の強化及び徹底した会員サービスの充実強化

- ① 商工会の組織基盤の強化
- ② 商工会職員の資質向上対策の推進
- ③ 会員サービスの充実強化

六、商工会地域経済振興事業による地域再生

- ① 商工会等地域復興ビジョンへの取り組み支援
- ② 商工会地域貢献アピールプラン策定と積極的アピール
- ③ 地域生活者支援システム構築の支援

商工貯蓄共済表彰

- 目標達成商工会
- 国見町、天栄村、石川町、三春町、都路町、常葉町、棚倉町、只見町、あいづ、広野町、葛尾村



平成二十七年 度実施事業 優良商工会等表彰

(事業功績)

経営革新計画策定支援

- 長沼、石川町、小野町、矢吹町、矢祭町

持続化事業支援

- 本宮市、天栄村、平田村、浅川町、古殿町、小野町、滝根町、船引町、矢吹町、塙町、南会津町、猪苗代町、会津坂下町

記帳支援事業

- あだたら、新地町

新役員(役員補充選任)

- 理事 岡崎長市(国見町)



県青連第49回通常総会の開催

福島県商工会青年部連合会の第49回通常総会が5月13日(金)、多数の青年部員が参加のもと、福島市「ウェディングエルティ」にて開催されました。河治徹会長の挨拶後、井出健人部長(川内村)が議長に指名され、議案審議となり、第1号議案から第3号議案まで原案通り可決承認されました。

平成28年度の事業計画では、11月8～9日に郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催される「商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典」及び「第18回商工会青年部全国大会」に向けて青年部一丸となって活動することや今年で5回目となる「商工会うまいもんNo1決定戦」の開催、地域の経済活動の担い手となる若手経営者及び後継者の資質向上のための組織基盤強化推進セミナーの実施等を採決しました。そして、昨年度に引き続き、福島県商工会青年部員顕彰として、人(ヒューマン)づくり部門、ネットワークづくり部門、まち(地域)づくり部門、感謝状の個人8名と1団体の顕彰が行われました。

会場内では、熊本震災復興に対する募金活動が行われ125,755円の募金をお預かりしました。



通常総会



青年部顕彰

青年部員顕彰リスト

人(ヒューマン)づくり部門(個人)

県南地区 塙町商工会 本多 幸雄

ネットワークづくり部門(個人)

会津地区 檜枝岐村商工会 星 茂俊

まち(地域)づくり部門(団体)

相双地区 新地町商工会

感謝状(個人)

県北地区 伊達市商工会 斎藤 暁

県中地区 常葉町商工会 石井 修一

県南地区 ひがし商工会 鈴木 賢

会津地区 きたかた商工会 川原田辰弥

相双地区 新地町商工会 目黒 博樹

いわき地区 川前町商工会 志賀 昌彦

県青連全体部長会の開催

通常総会終了後、平成28年度福島県商工会青年部全体部長会が開催されました。

はじめに、総務委員会より100円玉募金事業や災害対策マニュアルの策定等について説明があり、研修委員会からは商工会青年部主張発表福島大会の日程及び会場の発表、広報委員会から全青連公式アプリの利用方法の説明が行われました。最後に、河治会長より平成28年度商工会青年部・女性部組織化50周年式典及び商工会青年部全国大会について説明が行われ、青年部一丸となって大会を成功させることを決意しました。



部長会議

商工会女性部トップセミナー・第49回通常総会開催される。

第49回県商工会女性部連合会通常総会は、5月11日・12日、郡山市熱海町「ホテル華の湯」にて開催され、内堀福島県知事、轡田県連会長をはじめ、ご来賓を迎え、県内89商工会から240名の女性部長・部員が参加しました。通常総会では、神田ミサ子部長（富久山町）が議長となり第1号議案から第3号議案まで原案通り可決承認されました。

併せて総会の席上において、昨年度新規部員の加入数が最も優れていた3女性部に対し表彰及び目録の授与を行いました。

平成27年度新規部員加入実績

- 第1位** 桑折町商工会女性部 17名
(全国女性部の部 5位)
- 第2位** 田人町商工会女性部 8名
- 第3位** 南会津町商工会女性部 7名



部員加入実績が最も優れていた3商工会女性部に対し表彰を行いました。

今年度の事業活動においては、11月に郡山市で開催される「商工会青年部・女性部全国組織化50周年式典・主張発表全国大会」の成功にむけ、青年部・女性部が一丸となって各事業に取り組むことなどが採決されました。

また、通常総会に併せて実施した「女性部トップセミナー」では、県内6ブロックの代表者による商工会女性部主張発表福島県大会が行われ、「女性部活動と地域振興・まちづくり～お月見様の夜に広がる希望の灯り～」というテーマで発表した、いわき地区代表・遠野町商工会女性部 部員 佐川繫子さんが最優秀賞（県知事賞）に選ばれ、7月13日に山形県で開催される東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。

翌12日には、「第1印象は30秒で決まる！相手を引きつける爽やか笑顔と会話術」と題し、うつ病家族支援アドバイザーとして活動する、望月美由紀（もちづき みゆき）氏による基調講演が行われました。



県女性連会長挨拶・服部淳子会長



6名の皆様が各地区の代表として主張発表を行いました。

望月氏は、うつ病家族支援アドバイザー、そして大道芸を演じる「クラウン」として幅広く活動しています。今回の講演では、自身がうつ病に罹った過去、配偶者の闘病生活を支えた体験などをもとに、日常における笑顔の重要性、笑顔や腹式呼吸での自律神経の調節による免疫力アップ、コミュニケーションにおいて相手を引きつける会話術などを、体を動かしながらわかりやすく講演していただきました。

福島工業高等専門学校と福島県商工会連合会との 産学連携に係る協力協定調印式

福島県商工会連合会は、5月17日、福島工業高等専門学校と産学連携協定を締結しました。

協定の内容は、地域の発展と産業の振興、人材の育成を目的として、それぞれが保有する研究シーズ、地域産業情報、支援ノウハウ等を活用した連携協力を行うというものです。

轡田会長は、「復興期を迎え事業所より高度な経営支援を求められている。これまでの点と点の関係から、連携をより強固にし地域経済の発展に寄与するため連携に至った。今後は、福島高専の研究成果等のシーズと地域企業のニーズのマッチングや学生の教育支援などに向けた取組みを進めていくこととなる。」と挨拶しました。



左：中村校長 右：轡田会長

予定事業

- ① 福島工業高等専門学校の研究成果等のシーズと地域企業のニーズとのマッチングのコーディネート
- ② 地域産業の発展と地域の課題に関する情報交換
- ③ 創業・新技術・新規事業分野に関する情報交換及び支援
- ④ 地域の人材育成のための学生の教育支援
- ⑤ その他本協定の目的を達成するために必要な事業

復興地域発信型人材育成事業 実施協定調印式

福島県商工会連合会は、5月17日、いわき復興雇用創出と起業家支援グループ、福島工業高等専門学校と復興地域発信型人材育成事業実施協定を締結。地域で創業・活躍できる人材の育成のために、3団体が主催、いわき市が共催し、いわき市内の高校生を対象に行う、復興地域発信型人材育成事業「野心ある高校生ハイスクールカレッジ」を説明しました。



左3番目から、土屋代表、中村校長、轡田会長、清水市長

轡田会長は、「産学官連携により、国際社会に通用する起業家を育成するため開催する。経営学の基礎を学び、地域の中小企業を訪問し理解しながら、将来の進路に役立てて欲しい。また、副賞の韓国ビジネス研修は、学生交流や大手企業研修も予定している。是非頑張ってもらいたい。」と挨拶しました。

本セミナーの受付は終了しました。
ご応募ありがとうございます。





商工会青年部・女性部

全国組織化50周年記念式典

友よほんとうの空へ

第18回商工会青年部全国大会
第18回商工会女性部全国大会

福島大会

2016年

11月8日(火) 9日(水)

【式典・全国大会】ビッグパレットふくしま

【交流会】ホテルハマツ(平安の間)

主催 全国商工会青年部連合会・全国商工会女性部連合会

主管 福島県商工会青年部連合会・福島県商工会女性部連合会

後援 中小企業庁 福島県 郡山市 全国商工会連合会 福島県商工会連合会

ズームアップ。



県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までE-メールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

桑折町商工会

献上桃の知名度向上 「桃ふく」誕生



手作り菓子工房 大野屋
代表 大野 隆男氏

〒969-1614
福島県伊達郡桑折町字本町3
TEL 024-582-3165

■桑折町の味として…

1950年創業の桑折町老舗菓子店「手作り菓子工房大野屋」。代表は二代目大野隆男さんです。先代の味を守りながら、桑折町ならではの特色ある菓子を数々開発し、町からも名物開発の依頼がくるほど町を代表するお菓子屋さんとなっています。

2013年には関東各地で10年間/パティシエ修業を積んだ三代目大野雅史さんが加わり、伝統ある和菓子とこだわりのある洋菓子、両方を販売する注目のお店にもなっています。雅史さんが洋菓子を作り始めたきっかけは、「桑折町になかったケーキを販売する洋菓子店をつくりたい」という思いから。夢を実現し、店内にはケーキをメインとして、プリン、チョコレートなど数々の手間と時間をかけた手作り菓子が並んでいます。屋号にも表現されるとおり「手作りの味」に強くこだわり、他にはない無二の味が注目され数々のメディアにも取り上げられています。さらに、鮮度の高い地元食材を積極的に使用し、「献上桃の郷」として有名な桑折町の「桃」を



筆頭に、地元でとれる旬のくだものなどを利用した季節商品を販売するなど、フレッシュで出来たての飽きない商品ラインナップも魅力の一つです。最近の話題は、ケーキにイラストしてくれるイラストデコレーションケーキ。もちろん、手作りケーキをベースに、味はもちろん見た目の楽しさが話題を呼び、遠方より買いに来る方もいらつやいます。

今後、二代目が作る和菓子と三代目が作る洋菓子が融合された新たなこだわり商品を開発する予定もあり、これからの展開も楽しみです。

■商工会との共同開発

商工会とは桑折町の桃(献上桃)を使った地域特産品開発を行いました。「福島県地域づくり総合支援事業」の補助を活用し、商業部会との度重なる会議を行い、地域の名物である献上桃の知名度向上と若い方にも食していただくことをキーワードとして、風評被害払拭に繋がる商品開発を行いました。試行錯誤をした結果「桃ふく」が誕生し、各方部から問い合わせがあるなど、大

きな反響を得ることが出来ました。

今後も商工会の支援を受けながら、事業運営に活かしていきたいと思っております。

県中・県南

平田村商工会

お客様の声により 個室宴会を実現



手打ち中華そば 味楽
代表 大竹 茂氏

〒963-8202
福島県石川郡平田村上蓬田字下檜らい14
TEL 0247-55-2157

■こだわりの手打ち中華そば

今回ご紹介致します「手打ち中華そば味楽(みらく)」は、平田村の国道49号線沿いで元々スーパーおたけという屋号で、食品小売、時計、眼鏡販売を行って来ました。平成16年から店舗の一部を改装しラーメン店を開店し現在に至っています。ランチタイムには、多くのお客様で賑わい、着実にファンを増やしているお店です。

店主こだわりの麺は、北海道産小麦の石臼挽き全粒粉と小麦粉をブレンドした粉を手打ちしたものを丁寧に包丁で切り、もちもちとした食感に仕上げています。また、チャーシューは、国産のもち豚を使用し、七輪で炙り香ばしく仕上げています。元々が食品小売を営んでおりますので、市場から直接、厳選した材料を安価で仕入れることができているのも強みとなっています。

■ラーメン居酒屋事業の展開

お客様からの声として、地域のイベントの反省会等で利用される方々からは、個室があれば利用しやすいとの声や小さい子供とも気兼ねなく食事を楽しめる量の個室が欲しいという声がありました。そこで、小規模事業者持続化補助金を活用し、現状売上の少ない夜の時間の新規顧客獲得と売上増加を図るために、現在ある小売部門の店舗スペースを縮小し、できたスペースに18畳の和室を設け20~30名程度の個室宴会を可能にし、「ラーメン居酒屋」事業を展開する体制を整えました。

宴会メニューは、ラーメン屋ならではの餃子などを

はじめ、鮮魚店での修行経験を持つ息子さんが捌いた刺身など幅広い世代に喜んで頂けるよう長男夫婦が試行錯誤しながら考えています。

個室宴会場を設けたことで、宴会のお客様からは周りを気にせずお酒を楽しめる。ラーメンを食べに来るお客様からは、静かなところでゆっくり食事を楽しめると双方から好評を博し、既に6ヶ月間で40件の宴会の申込があり売上も順調に伸びています。

■最高の一杯を目指して

今後も美味しいラーメンをつくるために手間を惜しまず、材料にこだわり、現状の味に満足することなく研究を重ね最高の一杯を目指していきたいと考えています。

普段から、商工会の職員さんとは、様々な商工会事業で顔を合わせているので、税務や金融など様々な面で気軽に相談できるので助かっています。今回利用した小規模事業者持続化補助金の申請書の作成でも全面的に支援していただけたのが本当に助かりました。

今後は、個室宴会場の更なるPRの他、補助金申請の際の経営計画作成で見た当店の課題解決に向けて引き続き商工会の支援をお願いしたいと思います。

これからもよろしくお願いします。



会津

南会津町商工会

日本の南会津から 世界の子どもたちに遊んで もらえるおもちゃを



(株)マストロ・ジェツペット

代表取締役社長 児山 文彦氏

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3983

TEL 0241-62-1600

e-mail: info@mastrogeppetto.jp

http://www.mastrogeppetto.jp

■「Made in JAPAN」と「Design」

この度、ご紹介いたします(株)マストロ・ジェツペットは、南会津町内の製材業者等5社の共同出資により平成22年に設立された木製玩具メーカーです。「日本の南会津から世界の子どもたちに遊んでもらえるおもちゃを」をテーマにそれぞれの分野のプロフェッショナルが同じ夢と方向性をもって立ち上がりました。製造は全て南会津地域。国産の高い技術力で安全かつ高品質に作り上げています。特にデザインに力を入れ、2度のグッドデザイン賞を受賞しています。

会社設立以降、近年急速に進む林業や木材産業の衰退を食い止めるべく、木製玩具を通じた地域活性化に取り組んできましたが、原発事故の影響により売上は減少し、企業の認知拡大と商品の販路拡大が喫緊の課題となっていました。そこで、企業及び商品の全国的な認知及び販路拡大を図るため、持続化補助金を活用しカタログ作成や展示会への出展を行ったところ、既存商品及び新商品合わせて計50社の新規取引に繋げることができました。当社は、森林資源の活用を通して南会津地域を活性化させるために不可欠な存在であり、今後も継続的に支援していきたいと考えています。



■今後の可能性を実感!

弊社は設立してから日が浅く、これまでは小売店を通しての販売が中心でしたが、商工会の支援を受けて獲得した持続化補助金を活用した展示会出展において、事業拡大の可能性を大いに感じました。今後は、ネット販売や南会津地域での直売店等も念頭におきつつ、木工体験や会社見学などのイベントも積極的に展開し、地域内外からの交流人口の拡大にも貢献していきたいと考えています。

浜通り

広野町商工会

クリーニング業を立ち上げて 地域再生に貢献



クリーニング マーティーひろのてらす店

(株)大和田縫製

代表取締役 大和田雅一氏

〒979-0402

福島県双葉郡広野町下北迫字苗代替24-1

TEL 0240-23-6339

営業時間/9:30~18:30

定休日/毎週水曜日・祝日

■事業紹介

今回は、震災後初めて広野町にオープンしたクリーニング店を紹介いたします。



弊社は昭和61年に創業した縫製会社でありましたが、平成16年に葬祭部門を立ち上げ、地域に密着した事業を展開してきました。平成24年に広野町が避難解除となっても町民の帰還が進まない上、雇用確保が厳しくなり縫製部門は休業し、葬祭部門も業績低下の状態でありました。

平成26年に、広野町で公設商業集積施設の建設計画が打ち出され、町民はもとより、町役場からもクリーニング店の要望が多く出ていました。また、商工会からの出店要請も後押しとなり、クリーニング取次店の出店を決意しました。

震災前、広野町にはクリーニング店が3店舗ありましたが、原発避難に伴い事業を再開する店舗がなく、震災後、町民は隣のいわき市まで足を運んでいる状況が続いていたため、誰もが不便を感じていたことが、出店理由の一つであります。

■商工会との信頼関係から

クリーニング取次店を出店するにあたり、地域の需要やフランチャイザー選定について商工会へアドバイスを求め、いわき市内を中心に事業展開を行っ

ているいわき市四倉町の大手クリーニング店へ商工会指導員とともに訪問しました。そこで出店の意向を説明したところ、「広野町の復興のためなら是非とも協力したい」となり、出店計画が始まりました。

弊社にとっては新規の事業となったため、準備するにあたっては店舗内の設計や保健所の許可、社員研修等、初めてのことはばかりでしたが、何とかオープンまでに間に合わせる事ができました。店舗内設備については商工会から勧めもあり、小規模事業者持続化補助金を活用しました。その時の経営状況再確認や事業計画の作成面ではかなり勉強になり、商工会との信頼関係が重要だと感じました。

■町の復興のため

平成28年3月5日に公設商業施設「ひろのてらす」が待望のオープンとなり、弊社も営業開始となりましたが、予想以上の集客でオープン以来、約5ヶ月間でクリーニング会員数も当初の計画を上回っております。帰還している町民、今後帰町する町民や、復興作業に従事されている方々のため、またそれが町の復興に繋がるよう、更なるサービス向上を目指して参りたいと思っております。

これから先も様々な課題に直面するでしょうが、都度商工会からのアドバイス等支援を望んでおります。



六次産業化による新規産業創出 都路町商工会



都路町商工会会長の渡辺辰夫です。

田村市都路町は中通りの最東端に位置し葛尾村、大熊町、川内村と隣接しております。ご存知とは思いますが東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難区域となり商工会事務所も避難、その後平成二十四年四月一日にいち早く警戒区域の解除・避難指示解除準備区域へ再編されたことにより都路町での業務を再開しました。

再編後は住民の帰還促進・事業再開のための会員事業所の支援のほか、「都路コミュニティセンター」施設「結」の開設、その後共同商業施設の立ち上げと運営支援などを行ってきました。

さらに、平成二十七年には都路の特産品を利用した六次化商品を開発し、今年三月二十四日に洋菓子販売施設「みやこスイーツ ゆい」をオープンさせ、更なる商品開発に取り組んでおります。都路町の完全復興の道はまだまだ険しいですが、役員が一体となり復興へと邁進してまいります。

都路六次産業化プロジェクト

都路町においては、平成二十六年四月一日に原発事故による避難指示区域が解除されたことにより、すべての地区が規制制限のない地域となりました。しかしながら、今なお原発事故の影響により避難生活を余儀なくされている住民はまだ多く、地域産業は大きな打撃を受けているのが現状であり、特に商業においては先行き不透明な状況です。

その原因として考えられるのは、住民の帰還率の低さであり、第三次産業の衰退です。都路町商工会としては、地域産業の復興・復興を促して六次産業化による新規産業創出に特化することが今後の都路町を考えた上での喫緊の課題と位置付け、地域で生産されている鶏卵を始め、地元農産物を活用した六次化商品の開発に着手しました。

六次化商品の特産品として地域内外に発信することによって交流促進を図り、都路町の再生と住民の帰還に向けた環境づくりや地域産業の再生と雇用の創出を目的に平成二十八年三月二十四日に「みやこスイーツ ゆい」がオープンしました。



内堀知事チャレンジふくしま

みやこスイーツ ゆい



店舗

「みやこスイーツ ゆい」は国道二八八号線沿いに黄色いトレッラーハウスを利用した洋菓子店で、商品は「都路たまご」を使用したプリンや、同市特産の「えんま」を使ったシフォンケーキなどを販売しております。また、あぶくまの天然水でつくった「ゆいオリジナルコーヒー」も提供しております。



▼商品

▲プリン

商品開発には東京プリンスホテル製菓料理長の内藤武志氏の協力を経て約一年前からレシピ開発や、従業員の技術指導を行ってまいりました。

この事業には地元の船引高校家庭科クラブも参加し、「ふくしまDCイベント」や都路こども園への「クリスマスイベント」など積極的にイベント企画・参加をしてきました。従業員は都路町出身三名・田村市出身三名を雇用し、子育て世代や若年層の雇用の場の創出を図っております。

今後地元農産物を活用した六次化商品を開発し、一次・二次・三次の相乗効果による地域の強みや潜在力を生かした食の魅力、地域活力の増進に繋がってまいります。

今後地元農産物を活用した六次化商品を開発し、一次・二次・三次の相乗効果による地域の強みや潜在力を生かした食の魅力、地域活力の増進に繋がってまいります。



イベント

都路商業施設どーも



仮設商業施設

平成二十六年四月六日に都路町商工会でつく「都路町商業施設協議会」により日用品等を扱う仮設商業施設「DOMO (どーも)」が古道店・岩井沢店にオープン

し、まちなか商業施設を整備してきました。商業施設設置の目的は帰還率の促進・地域住民、買い物弱者への利便性の提供であり、高齢者の方々を中心に地域住民の方々による利用が大半を占めています。食料品の他にも日用品・生活雑貨・惣菜・地元野菜など取り揃え地域住民のニーズに対応しており、また送迎サービスや配達サービスなど高齢者や買い物弱者への取組みも積極的に行っており地域住民の利便性向上を図っております。

Information

商工会だより

新しい葡萄酒は 新しい皮袋に盛りたい

磐梯町商工会



磐梯町商工会長の吉田長政です。先ず初めに当町の歴史・観光・産業について説明します。当町の最高

点は磐梯山の山頂で標高一、八一六メートル、最低地点は会津盆地の一端で標高二〇〇メートルです。磐梯山の麓にあり磐梯山の大自然の恩恵を受けています。磐梯西山麓湧水群は日本の名水一〇〇選に指定された湧水群であり、会津藩の雨乞い儀式が行われた場所でもあります。この水が、町の誕生地域の産業に大いに貢献しております。会津仏教文化発祥の地とされる慧日寺は、八〇七年に法相宗の僧徳一がこの地に開基されました。徳一は東大寺と興福寺に学び、空海や最澄とも論争した高僧であり、慧日寺は平安時代の末期には寺僧三〇〇、僧兵三、〇〇〇、寺領十八万石という大寺院に発展し、会津一円を支配していま

枯れたことの無い磐梯山湧水群の恩恵を受けていたからと想像されます。

現在、金堂・中門が復元され、薬師寺に由来した薬草の街づくり事業が展開されています。又、

産業においても清水を利用した造り酒屋や、県内有数の規模を誇るレンズ・カメラ製造の「株」シグマ、



(株)シグマ

レジャー施設のアルツ磐梯スキー場、メロウウッドゴルフ場と磐梯山の恵みを受けての産業が発展しています。平成二十六年の町全体の製造品出荷額は三九九億円で会津の町村では一番多く、現金給与総額も約六十億円と県内トップクラスです。一方で町内には大規模な商業施設が無く年間商品販売額は県平均を大きく下回っています。

このような中、今後当会においては他の商工会とは異なり町内にある大きな企業との連携を密にし、その企業の持つ持っているノウハウを商売に活用で

きないか、商工会が行うイベントへの全面的な協力体制と、資金面でのバックアップをお願いできないか、町からの支援と企業の支援により未来に向かつての事業展開ができないか、地域商工業者が疲弊している今、新しい発想で共存共栄を図りながら地域の発展の為、手を取り合いながら進むことを考え、実行することがこれからの地方経済発展の道と考えます。

地域の資源を利用した

商品開発

磐梯町では地域資源を利用した新商品の開発が急務となっております。当町には年間一〇七万人が入場する「道の駅ばんだい」があり、商品を開発すれば販売していただける施設は完備されておりあります。平成二十五年より、会員の有志の方が集まり委員会を作り、その中で観光客が気軽に手に取り口に入れていただく商品として「磐梯山ころっけ」を商品化しました。磐梯山を形どり地元食材の磐梯マス（現在豚肉）・ほうれん草・じゃがいも等をふんだんに取り入れ好評を博しており、今では三名を雇用するほどになりました。又、本年は焼きころっけ、トマトのピューレ、野菜の加工品、魚の燻製等を試作し商品化に向け取り組んでいます。補助金で作っても、販売するところが無く六

次化商品も戻つばみになる中、今後は、町の協力を頂きながら雇用増と新工場を目指し商品開発に力を注ぎたいと思います。



福島県プロフェッショナル人材戦略拠点のご案内

プロフェッショナル人材の採用をサポートします!!

～「攻めの経営」で次のステージを目指しませんか～

福島県プロフェッショナル人材戦略拠点では、県内企業の「攻めの経営」への転身を促し、プロフェッショナル人材の採用を、登録人材ビジネス事業者を活用してサポートします。

プロフェッショナル人材とは

専門的な技術や知識等を持つ経験豊富なマネジメント力のある人材で、新事業展開、販路開拓、生産性向上等の取り組みを通じて、企業の成長戦略を具現化していく人材のことを称します。

このような経営課題を抱えていませんか？

- 次世代の経営幹部や後継者が育っていない
- 新事業を立ち上げて新たな市場を開拓したい など
- 生産現場を改善し生産効率をアップしたい

課題解決に必要な経営サポート人材等のプロフェッショナル人材の採用を、当拠点に登録している人材ビジネス事業者に、求人ニーズを取り繋ぎサポートします。

相談無料 まずはお気軽にご相談ください!!

福島 振興センター

検索

お問い合わせ・相談窓口 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点(公益財団法人 福島県産業振興センター)

TEL 024-525-4091 FAX 024-525-4096 E-mail projinzai@f-open.or.jp
〒960-8053 福島市三河南町1番20号 コラッセふくしま7階 URL http://www.utsukushima.net

教えてあげたい!

消費税価格転嫁の近道

消費税軽減税率対策
窓口相談等事業

商工会では、経営に関する様々な課題を解決するための支援として、店舗・工場・事務所に専門家派遣を実施しています。

店舗の雰囲気にあった看板のリニューアルやプライスカード作成、接客サービス向上、高齢者をターゲットにしたホームページ作成、店舗の雰囲気に合ったロゴマークの作成、新事業分野進出、事業承継など幅広くご利用いただき、経営者の皆様より好評を得ております。

消費税率の10%への引上げ及び軽減税率制度の導入時期を平成31年10月とする旨を表明しました。持続的な経営を行うためには商品やサービスの付加価値を高め、消費税を価格に上乗せすることが必要不可欠でありますので、ぜひご活用ください。

お申込み方法 最寄りの商工会にお申込みください。

知財の活用について無料相談いたします!

知的財産活動のメリット

- ・有利な事業展開
- ・自社ブランドの構築
- ・自社技術力の向上
- ・社員のモチベーション向上

平成27年度相談実績：1300件

経営に寄与する知的財産活動

特許を保有する中小企業は保有していない中小企業よりも従業員一人当たりの営業利益率が約3倍という調査結果もあります。*

*「平成24年度中小企業実態基本調査」(中小庁)、「平成25年度企業活動基本調査速報」(経済産業省)より

県内唯一の知財ワンストップ相談支援窓口

まずはお気軽にご相談ください

福島県知財総合支援窓口 電話 024-963-0242

〒963-0215 郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ 2F



ふくしまからはじめよう。

(独)工業所有権情報・研修館事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 http://www.fukushima-i.org